

[江別市] 施策達成度報告書

政策 03 安心を感じる保健・医療・福祉の充実

施策 05 高齢者福祉の充実

主管課 介護保険課

施策の環境変化と課題

施策の環境変化 (23年度)	施策の課題 (23年度)
<p>江別市においても、少子高齢化が顕在化し平成23年10月の高齢化率は、22.9%に達した。</p> <p>高齢者の生活面では、日本経済の低迷などとともに、主な収入源である国民年金が減額されるなど、高齢者の家計に対して影響が出てきている。</p> <p>一方、高齢者に対する福祉サービスについては、社会福祉法人以外の事業者の参入が促進され、買物の宅配サービスや配食サービス、訪問リハビリ等のように多様化してきている。また、在宅者向けのデイサービス等に多種の事業者が参入するなどにより高齢者を取り巻くサービスは充実してきている。</p> <p>高齢者は、気候などの影響を受けやすく、2年連続の大雪による高齢者世帯の住環境の悪化は、高齢者サポートの重要性をあらためて認識するきっかけとなった。</p>	<p>福祉サービスの多様化と充実が図られているものの、高齢者が、自立した生活を営むためには、要介護状態になることをできるだけ先延ばしすること、介護を受けている方は、要介護状態が悪化しないことが重要である。その介護予防の取組として、各自に合った生活スタイルを見つけるために、介護予防教室等の利用を促進していく必要がある。また、必要な方へ、必要な福祉サービスが届けられるように、関係機関等を通して広報等を実施したい。</p> <p>雪対策等に関して、大雪の時だけではなく普段からの準備が必要であることから、除雪サービス等に対する需要増に対応できる体制を整えたい。</p> <p>孤立死の問題がクローズアップされているが、ライフライン事業者や自治会・民生委員等関係機関、住民等を含めた体制作りに取り組む必要がある。</p> <p>また、高齢者の社会参加、交流活動を活発化することは、生きがいつくりと孤立死の防止にも繋がることから、それら取組みを促進したい。</p>

施策の目的

高齢者が自立し、地域交流や社会参加をすることで、生きがいを持って生活できるまちを目指します。また、必要な介護サービスが受けられることで家族の負担を軽減します。

対象 (誰を対象とした指標か)

高齢者

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

- ・高齢者が自立し生きがいを持って生活ができる。
- ・必要な介護サービスが受けられ家族の負担が軽減される。

施策の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

施策の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
生きがいを感じている高齢者の割合	%	74.1	78.9	-	79.1	↗
介護サービスが充実していると思う市民割合	%	90.8	84.6	-	84.4	↗

施策の達成状況 (23年度)

高齢者が生きがいを感じている割合は、増加しているが、介護サービスが充実していると思う割合は、減少している。これは、介護サービスの満足度だけで生きがいを感じるのではなく、高齢者の社会参加や高齢者を取り巻く社会的環境等も関連して判断されているものと思われる。また、アンケートの対象者が高齢者本人と家族等を含む市民の違いもあると思われる。介護サービスが充実している割合が減少しているのは、高齢者が増加したことにより特養や老健等の入所施設の整備が間に合わず不足していることも要因の一つであると考えており、高齢者総合計画では、地域密着型の施設整備を進める計画である。

施策事業コスト	22年度決算額	23年度決算額	24年度当初予算
トータルコスト(千円)	417,690	451,772	379,312
事業費(千円)	409,627	442,941	369,600
人件費(千円)	8,063	8,831	9,712

01 地域交流と社会参加の促進

基本事業の目的

住民同士や地域内の交流、高齢者クラブ等への参加、ボランティア活動等を通じて、元気な高齢者を増加させます。

対象 (誰を対象とした指標か)

高齢者

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

・元気で、生き生き生活できる(生きがいがある、健康である)。
・住民同士や地域内で交流することができる。
事業等への参加 事業運営などの活動参加 ボランティア活動参加

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
高齢者クラブ加入者及び老人大学受講者数	人	4,693	4,880	4,796	4,681	5,200
誰かと交流している高齢者の割合	%	46.6	48.6	-	44.2	↗

基本事業の達成状況 (23年度)

高齢者クラブ加入者及び老人大学受講者数は、減少傾向にあるが、誰かと交流している割合は、平成21年度に僅かながら増加したものの、また減少している。これは、組織に所属する意識が希薄になるなどの、個人主義の傾向を示していると思われる。指標にはないが、社会福祉協議会が自治会を支援して実施している愛のふれあい事業、ボランティア活動等の事業を通して社会参加の促進を図りたい。

基本事業コスト	22年度決算額	23年度決算額	24年度当初予算
トータルコスト(千円)	27,898	30,133	29,988
事業費(千円)	25,641	27,886	27,075
人件費(千円)	2,257	2,247	2,913

02 介護予防と自立生活の支援

基本事業の目的

高齢者等の健康の保持・増進のための介護予防・自立生活支援サービスを充実させ、健康で自立した生活ができるようにします。

対象 (誰を対象とした指標か)

高齢者

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

高齢者等の健康の保持・増進に関し、安定したサービスが受けられる。介護予防・自立生活支援の充実により生涯を通じて健康で自立した生活が維持できる。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
介護予防事業を利用している高齢者の割合	%	22.6	22.8	26.8	18.0	23.0
健康と思う高齢者の割合	%	69.4	65.1	-	69.7	↗

基本事業の達成状況 (23年度)

介護予防教室(一次予防)において、多くの高齢者が介護予防について学習し、自宅などで日常的に予防活動ができる方の増加を目指し、新規の方が多く参加するようプログラムや参加条件を見直したところ、延人数は減少したが、短期間の講座を複数回開催する形式に変更して実施したり、地域に出向く出前教育の回数の増加により、参加実人数は増加しつつある。

基本事業コスト	22年度決算額	23年度決算額	24年度当初予算
トータルコスト(千円)	112,763	117,828	128,597
事業費(千円)	110,023	115,099	125,603
人件費(千円)	2,740	2,729	2,994

03 在宅福祉サービスの充実

基本事業の目的

適切なサービスを提供することで高齢者の自立を支援し、住み慣れた地域で少しでも長く在宅生活が継続できるとともに、家族の負担を軽減することができます。

対象 (誰を対象とした指標か)

在宅の要介護者及び家族

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

- ・介護状態に応じた適切なサービスの提供により高齢者が在宅で不便の無い生活を送ることができる。また家族による介護ができるようになる。
- ・住みなれた地域で安心して生活が出来る。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
介護サービス利用者のうち、居宅介護サービス利用割合	%	76.6	79.3	79.7	80.3	79.8
介護サービスの満足度 (在宅福祉利用分)	%	84.0		86.8		↗

基本事業の達成状況 (23年度)

居宅介護事業所の増加に伴い、在宅でデイサービスや訪問介護等の利用者は増加している。また、具体的にはデイサービス、ショートステイ、訪問リハビリサービス等の事業所が増えてきていることで、サービス等の選択の幅が広まったことも、満足度の向上に繋がっていると思われ、引き続き、これらサービスの質的向上のため事業所への運営指導に努めたい。

基本事業コスト	22年度決算額	23年度決算額	24年度当初予算
トータルコスト(千円)	10,806	4,257	4,011
事業費(千円)	10,081	3,535	3,525
人件費(千円)	725	722	486

04 施設サービス機能の充実

基本事業の目的

在宅生活が困難な要介護者を施設に入所できるようにし、必要なサービスを受けることにより安心した生活を送ることができます。

対象 (誰を対象とした指標か)

施設入所要介護者等

意図 (対象をどのような状態にしたいか、施策のねらい)

- ・在宅生活が困難な要介護者等が、施設等において必要なサービスを受けて、安心した生活を送ることが出来る。

基本事業の目的をあらわす指標の動き (成果指標)

基本事業の成果をあらわす指標	単位	初期値	21年度	22年度	23年度	後期目標値
要介護度4以上の施設入所待機者数	人	238	229	269	253	200
介護サービスの満足度 (施設サービス利用分)	%	85.6		87.3		↗

基本事業の達成状況 (23年度)

高齢者人口の増加や施設の長期入所者が多いことなどから、待機者については施設新設による若干の減少はみられたものの横ばいの傾向は続いている。高齢者総合計画に基づき、地域密着型の施設を整備することにより待機者減少を目指している。今回満足度のアンケートは実施していないが、満足度のさらなる向上のために引き続き施設の運営指導に努めたい。

基本事業コスト	22年度決算額	23年度決算額	24年度当初予算
トータルコスト(千円)	245,053	244,552	208,635
事業費(千円)	243,441	242,545	206,611
人件費(千円)	1,612	2,007	2,024